

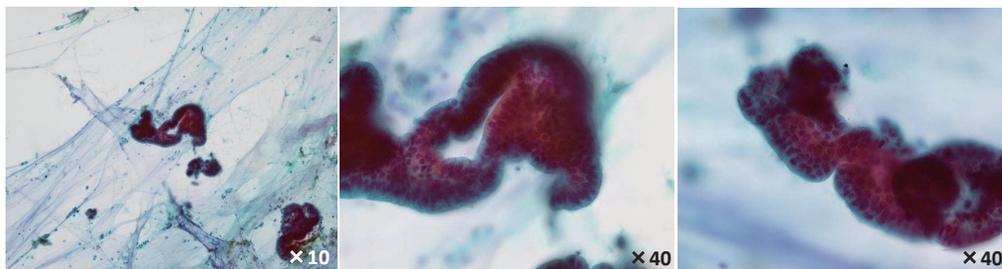
## 「鏡検実習」

天理よろづ相談所病院 病理診断部 本庄 原  
高橋 明德

膵、胆管細胞診をテーマとし25症例の鏡検実習を行いました。

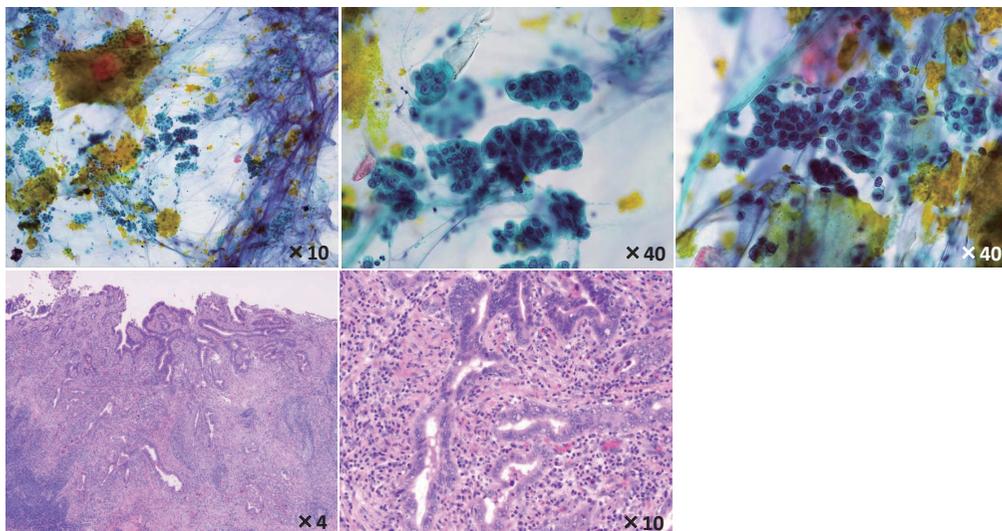
実習症例の詳細や標本の件でご質問、ご要望等がございましたら、天理よろづ相談所病院・細胞診検査室（0743-63-5611 内線 8416）高橋までご連絡ください。

### 症例① 胆汁 正常膵管上皮細胞



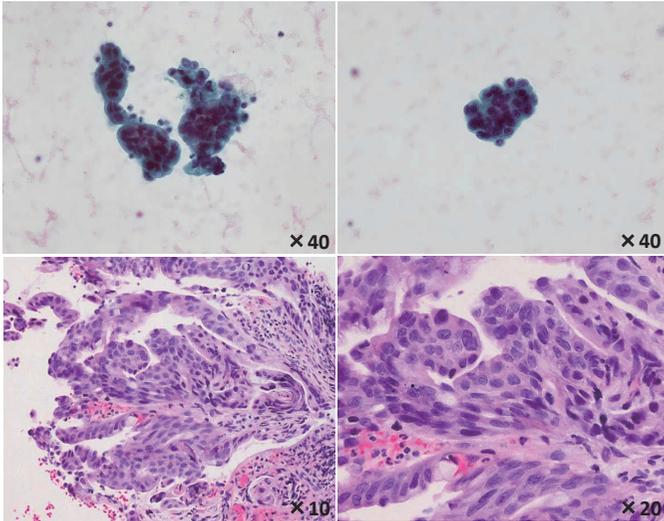
集塊はシート状～重積性のある乳頭状を呈するが、核間距離は均等。  
胆汁による収縮および濃染変化が疑われる。

### 症例② 胆管擦過 adenocarcinoma



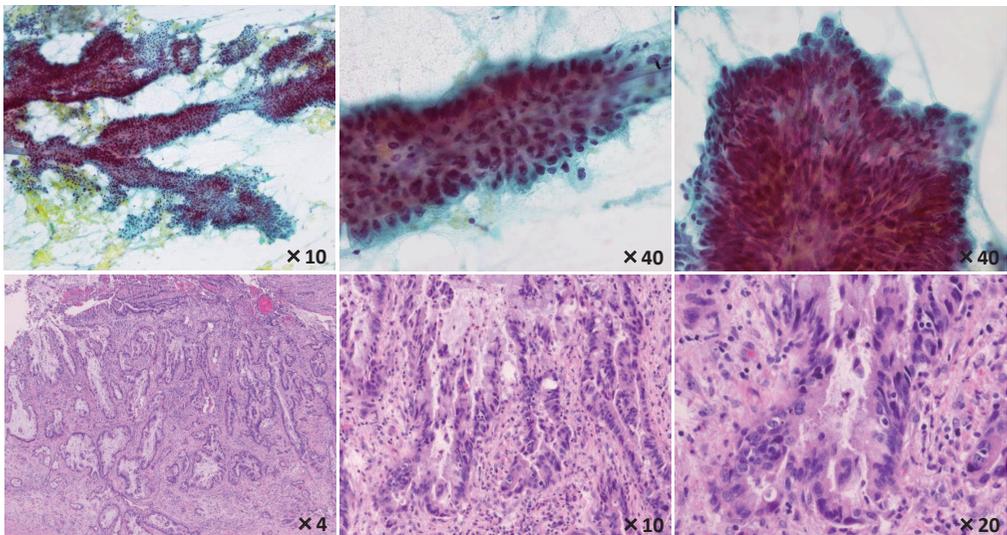
①不規則な重積、②核の配列不整、③集塊辺縁の凹凸不整の3項目を満たした細胞集塊で腺癌とする。

症例③ 胆管擦過 adenocarcinoma



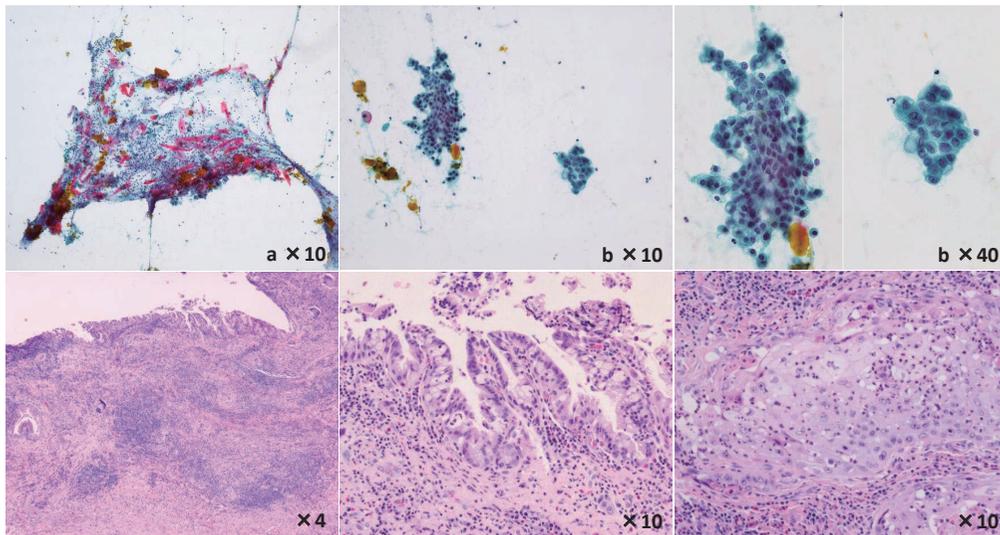
①核の腫大、②核形不整、③クロマチンの異常の3項目を満たした細胞集塊で腺癌とする。

症例④ 胆管擦過 adenocarcinoma



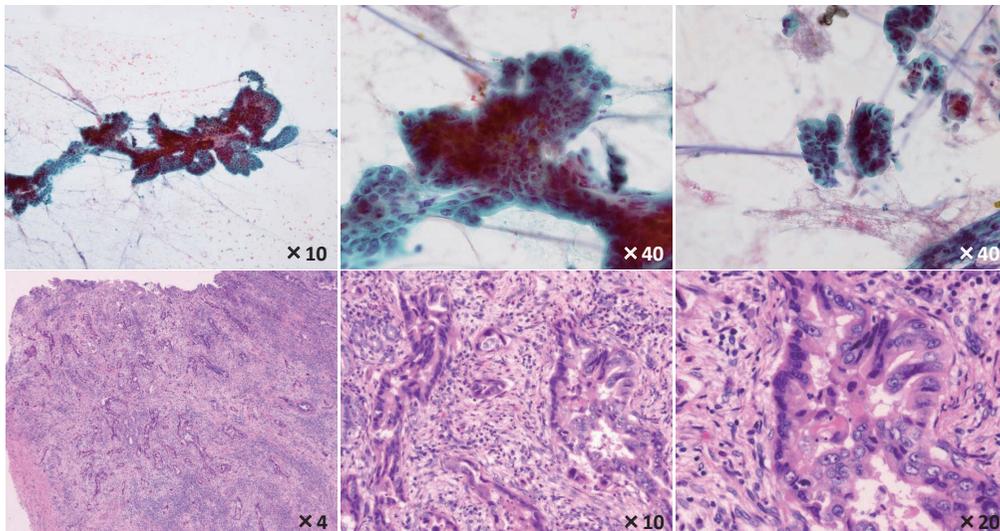
乳頭状の細胞集塊。核の増大は軽度だがクロマチンは増量し、①不規則な重積、②核の配列不整、③集塊辺縁の凹凸不整の3項目を満たした細胞集塊で腺癌とする。

症例⑤ 胆汁 adenosquamous carcinoma



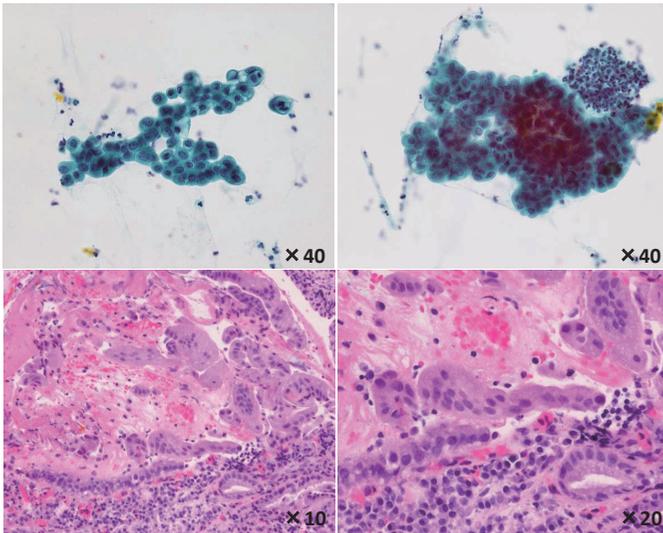
a：エオジン～オレンジG好性の扁平上皮系癌細胞。b：小型で核間距離の均等な腺細胞集団（左）とともに、やや核増大し核間距離の不整な腺癌細胞を認める（右）。

症例⑥ 胆汁 adenocarcinoma



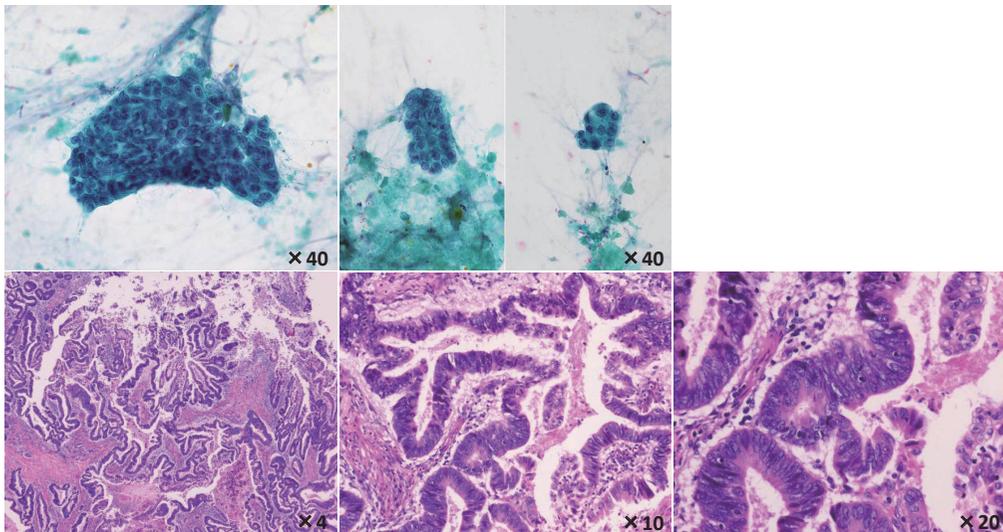
不規則重積を伴った乳頭状集塊。大部分の集塊辺縁は平滑だが一部は凹凸不整を呈し、核間距離の不整、核の大小不同を認める。

症例⑦ 胆汁 硬化性胆管炎



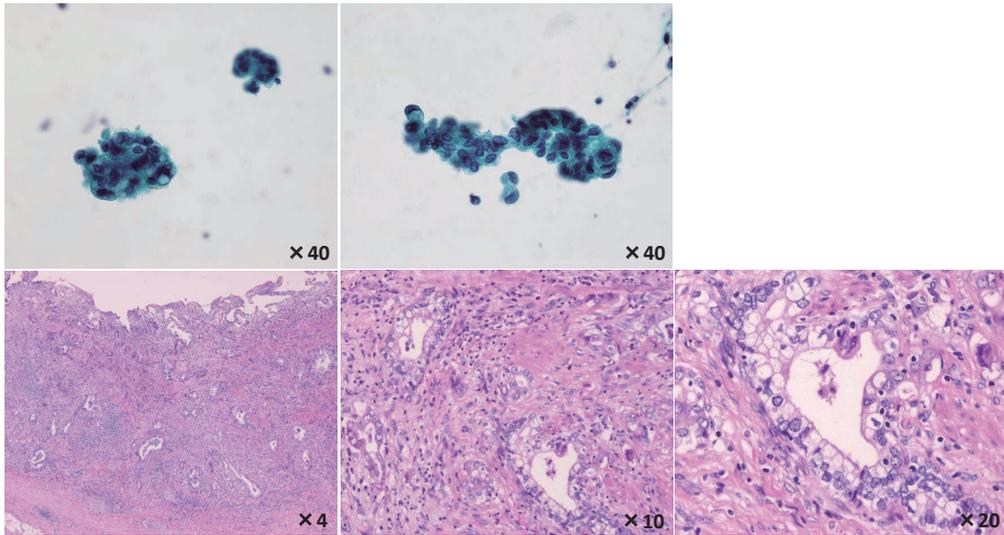
一部集塊に重積性を認めるが、核の極性の乱れや集塊辺縁からの核の飛び出しはみられない。重積部では核濃染しているように見えるがN/C比は小さく、クロマチンの分布は均等。生検ではIgG 4陽性のリンパ球浸潤を認めた。

症例⑧ 胆汁 adenocarcinoma



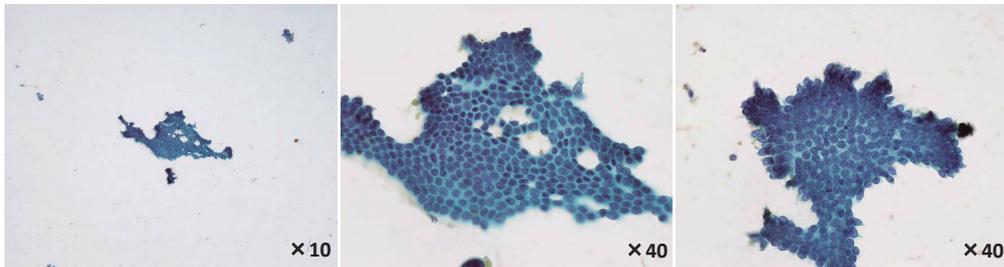
クロマチンの増量は軽度だが一部は不均等分布を呈し、核形不整を伴う。①不規則な重積、②核の配列不整、③集塊辺縁の凹凸不整の3項目を満たす細胞集塊を認める。

症例⑨ 胆管擦過 adenocarcinoma



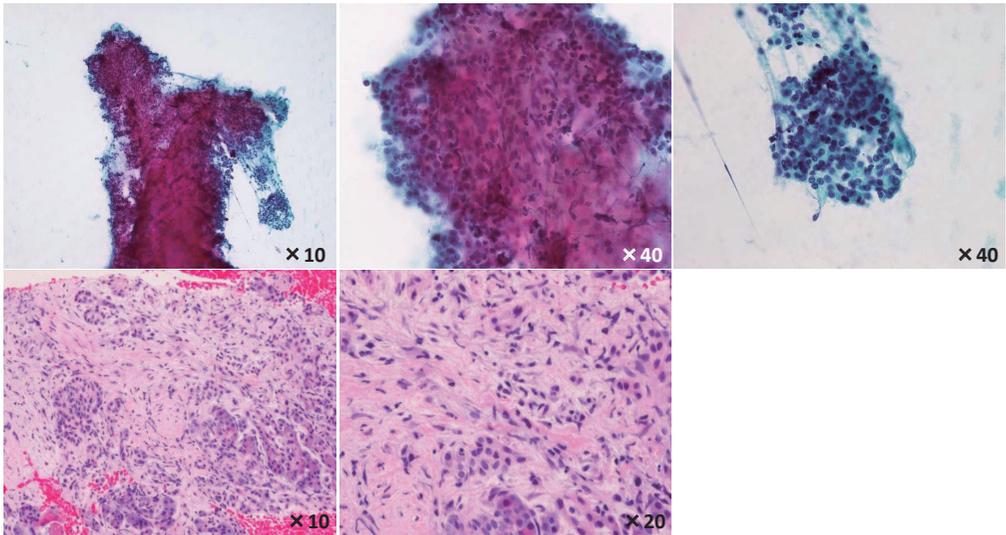
①不規則な重積、②核の配列不整、③集塊辺縁の凹凸不整の集塊 3 項目、①核の腫大、②核形不整、③クロマチンの異常の個々の細胞 3 項目をそれぞれ満たした細胞集塊で腺癌とする。

症例⑩ 唾液 正常膵管上皮細胞



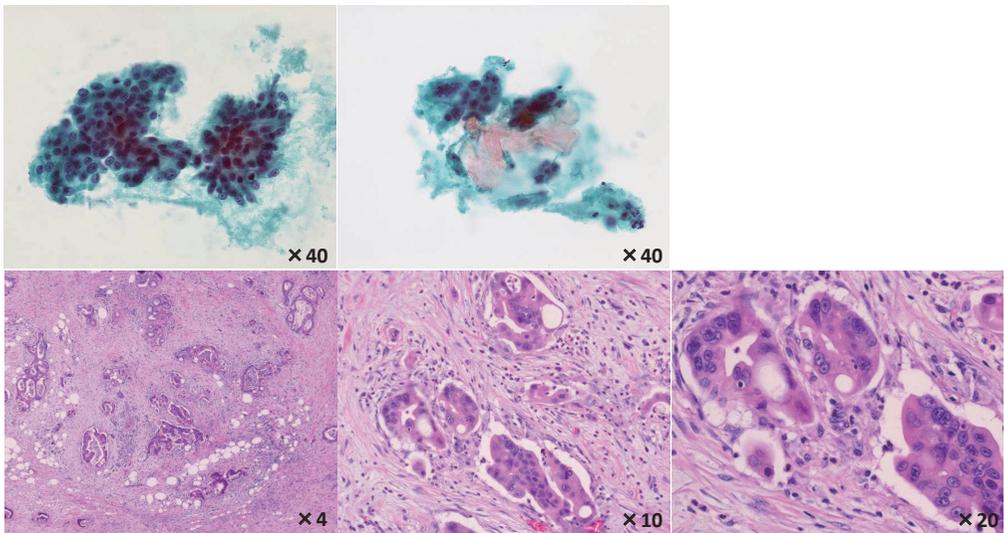
集塊はシート状で核間距離は均等。核は小型で異型に乏しい。

症例⑪ 膵頭部 FNA 自己免疫性膵炎



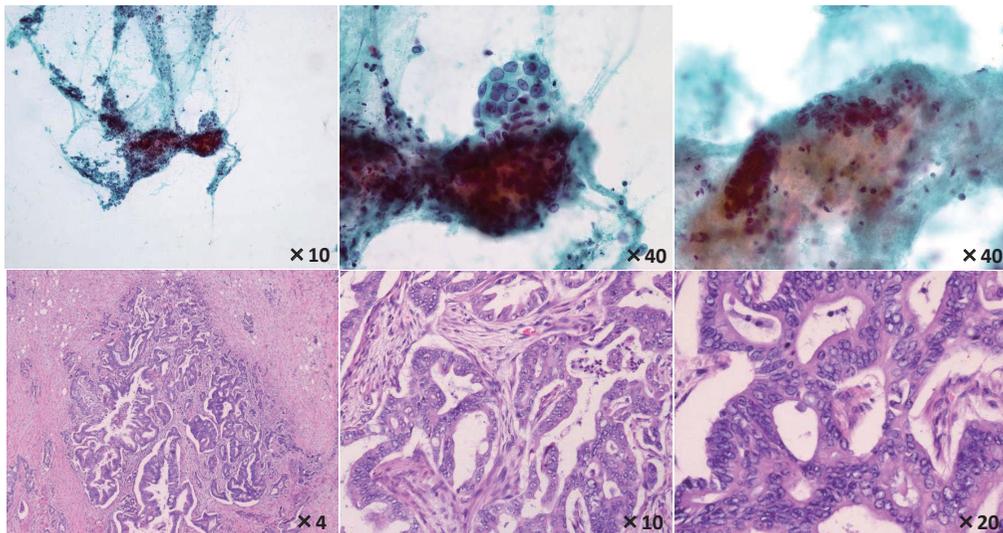
多数のリンパ球や腺房細胞、間質細胞が混在した細胞集塊が出現している。出現している細胞に明らかな atypia は認めない。

症例⑫ 膵体部 FNA adenocarcinoma



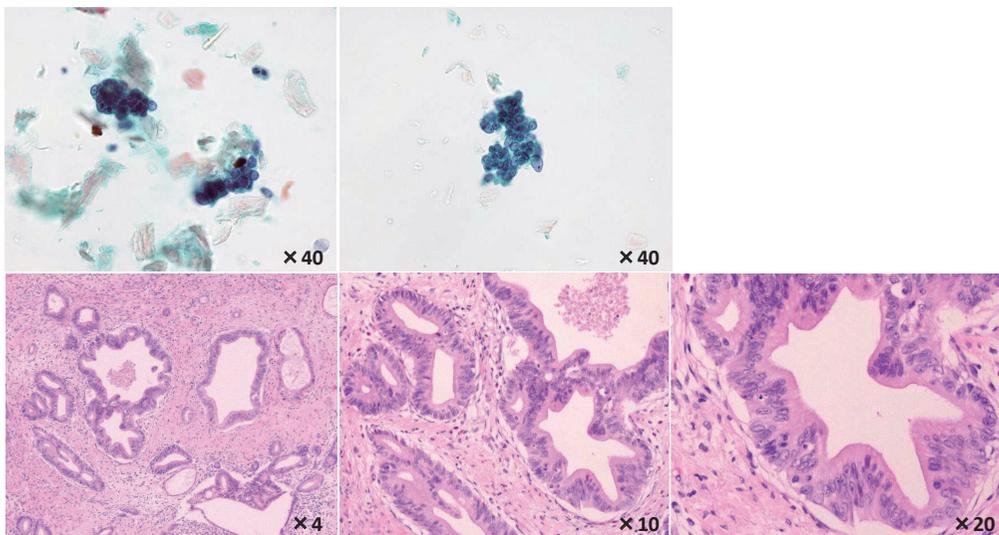
①不規則な重積、②核の配列不整、③集塊辺縁の凹凸不整の集塊 3 項目、①核の腫大、②核形不整、③クロマチンの異常の個々の細胞 3 項目をそれぞれ満たした細胞集塊で腺癌とする。

症例⑬ 膵体部 FNA adenocarcinoma



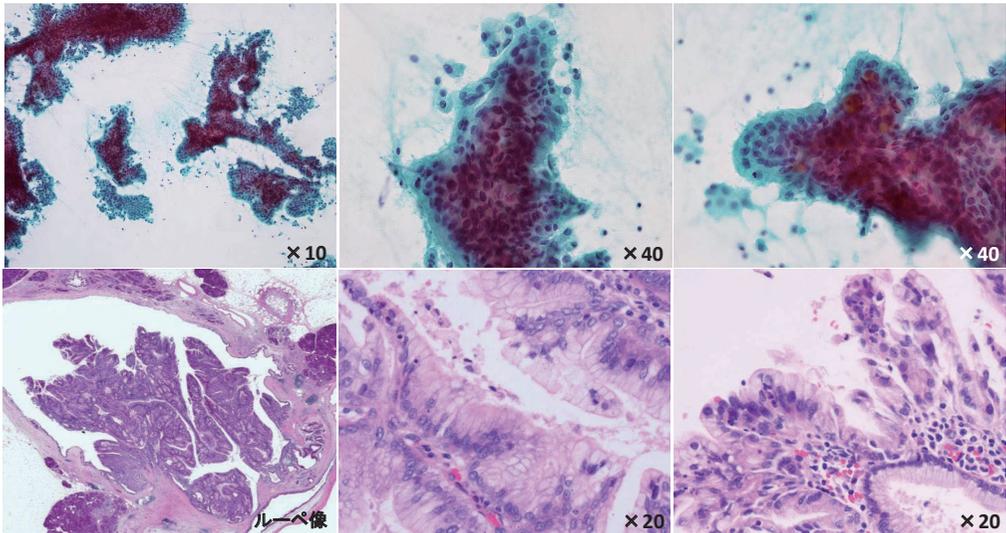
①不規則な重積、②核の配列不整、③集塊辺縁の凹凸不整の集塊 3項目、①核の腫大、②核形不整、③クロマチンの異常の個々の細胞 3項目をそれぞれ満たした細胞集塊で腺癌とする。

症例⑭ 膵管擦過 adenocarcinoma



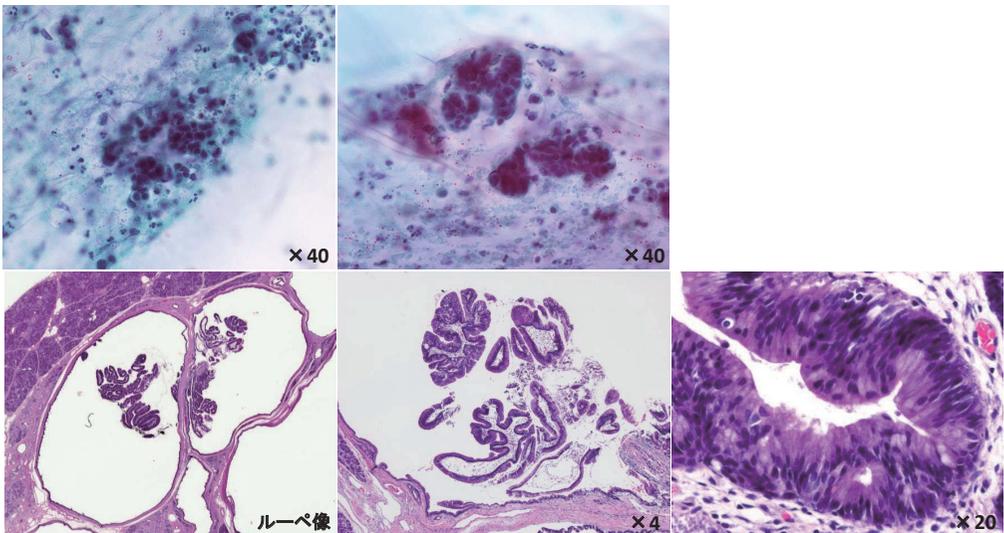
①不規則な重積、②核の配列不整、③集塊辺縁の凹凸不整の集塊 3項目、①核の腫大、②核形不整、③クロマチンの異常の個々の細胞 3項目をそれぞれ満たした細胞集塊で腺癌とする。

症例⑮ 膵液 IPMN (favor benign)



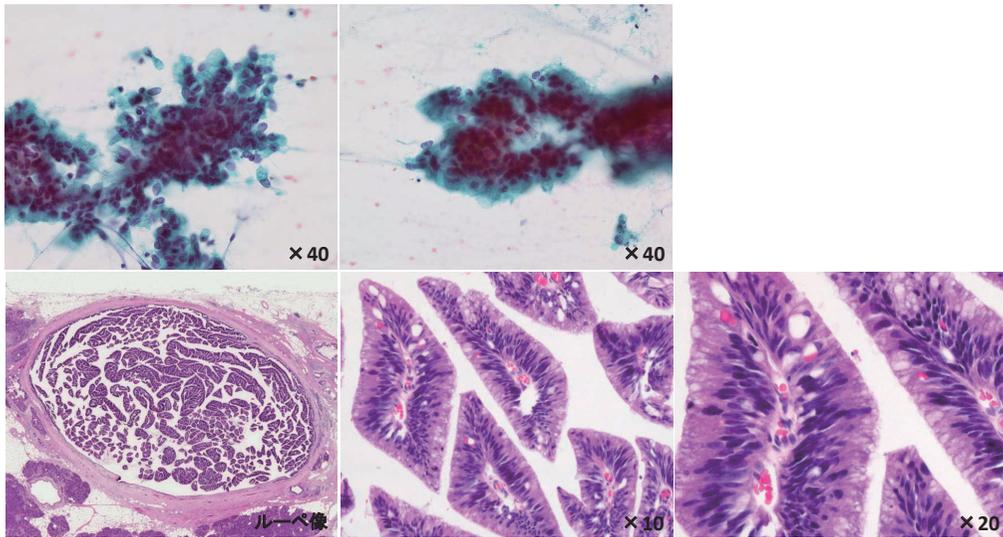
細胞質内粘液を有する円柱上皮細胞の乳頭状集塊。核の重積や軽度の配列不整を認めるが細胞密度は低く、集塊辺縁から核の飛び出しを伴った凹凸不整は認めない。

症例⑯ 膵液 IPMN (favor malignant)



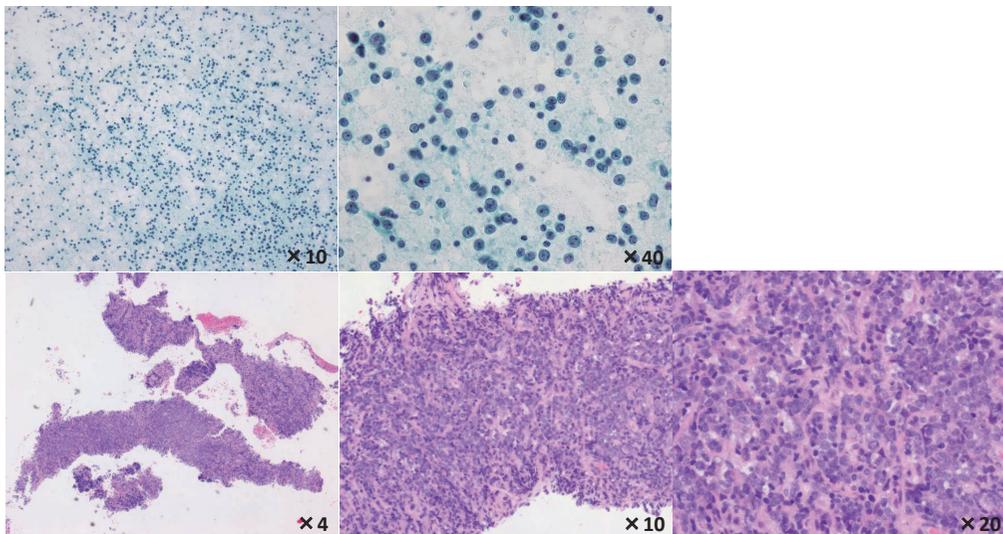
背景および細胞質内に粘液認め、一部は円柱状。細胞密度が高く、集塊辺縁から核の飛び出しを伴った凹凸不整を認める。核は小型～中型だがN/C比大、核形不整やクロマチンの高度増量を認める。

症例⑰ 膵液 IPMN (favor malignant)



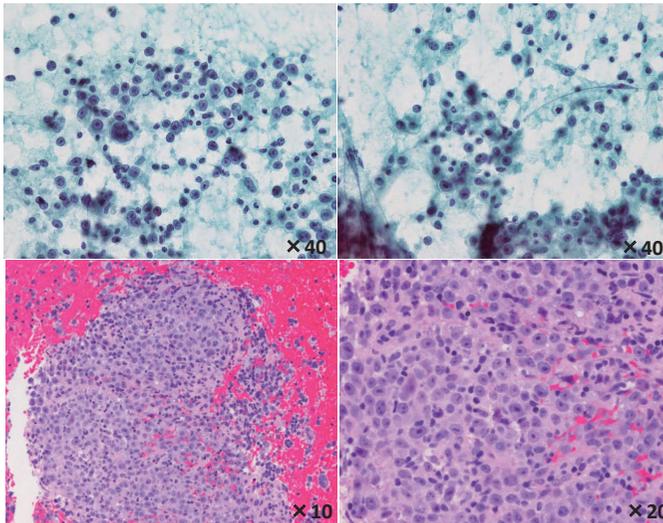
細胞質内粘液を有する円柱上皮細胞の乳頭状集塊。細胞密度が高く、集塊辺縁から核の飛び出しを伴った凹凸不整を認める。核形不整や粗顆粒状のクロマチン増量を認める。

症例⑱ 膵周囲リンパ節 FNA B細胞性悪性リンパ腫



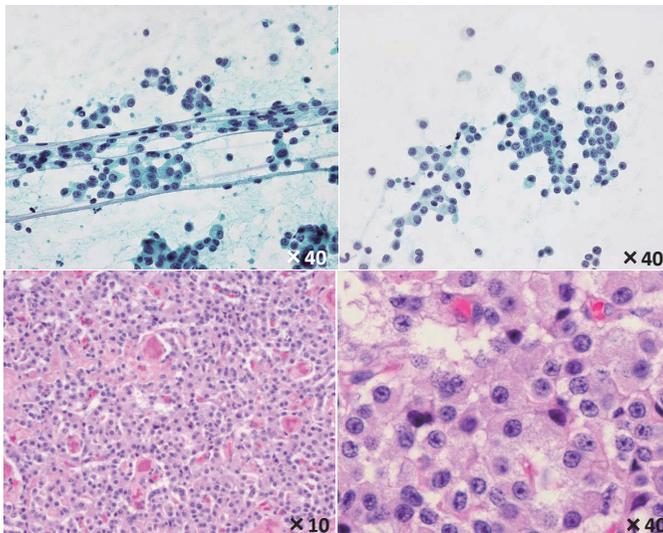
小リンパ球を背景に、中型でN/C比の大きな細胞が散在性に出現している。明らかな結合性は認めない。核形不整を伴い、小型ながら明瞭な核小体を単～複数個有する。

症例⑱ 膵尾部 FNA B 細胞性悪性リンパ腫



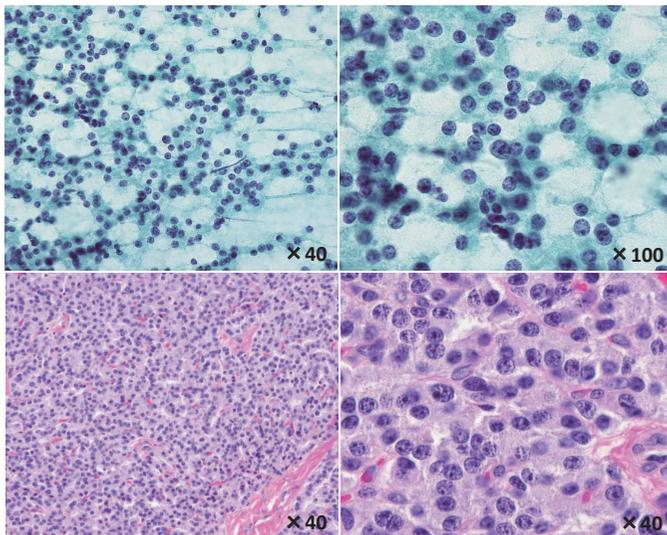
小リンパ球を背景に、小～大型で大小不同を伴ったN/C比の大きな細胞が散在性に出現している。一部は集塊状に出現しているが、細胞境界は不明瞭。一部に多核細胞を認める。核形不整が強く、不整で明瞭な核小体を単～複数個有し、クロマチンは不均等分布を呈する。

症例⑳ 膵尾部 FNA 神経内分泌性腫瘍, G1



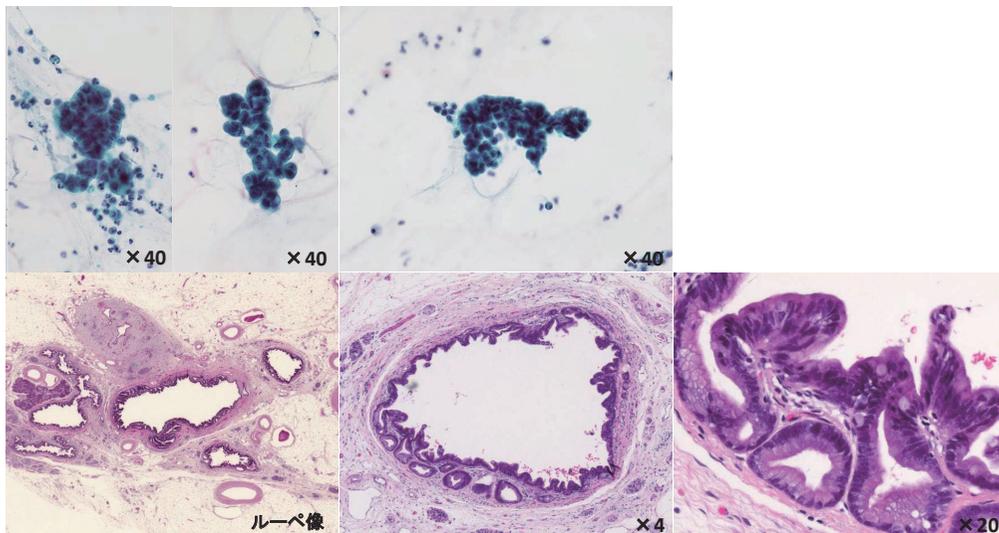
小型～中型で単調な類円形核を有する細胞。一部は核偏在傾向、比較的疎な結合性を呈する。“ごま塩状”と称される特徴的なクロマチンの分布を示す。

症例②① 膵尾部 FNA 神経内分泌性腫瘍, G1



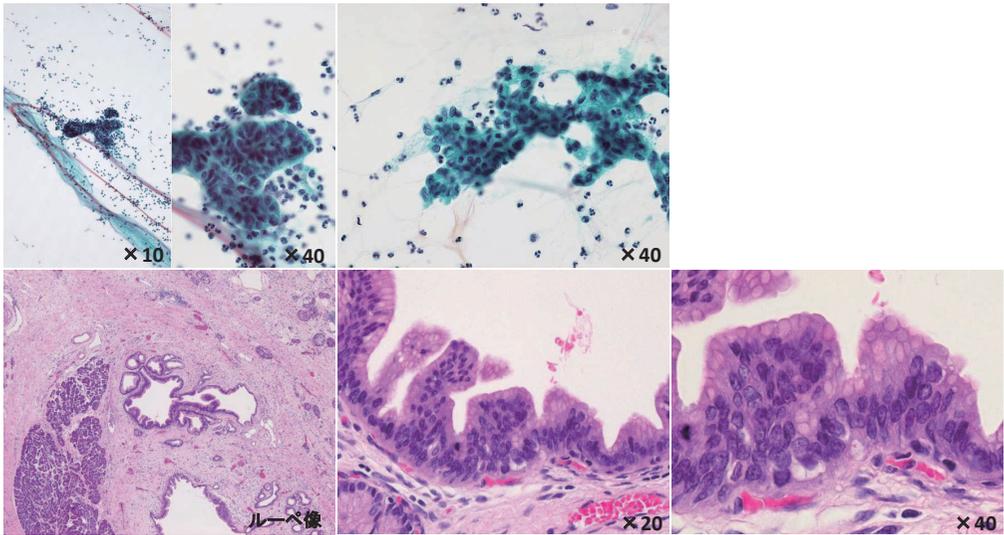
小型～中型で単調な類円形核を有する細胞。比較的疎な結合性を呈する。“ごま塩状”と称される特徴的なクロマチンの分布を示す。

症例②② 膵液 膵上皮内腫瘍病変 (上皮内癌)



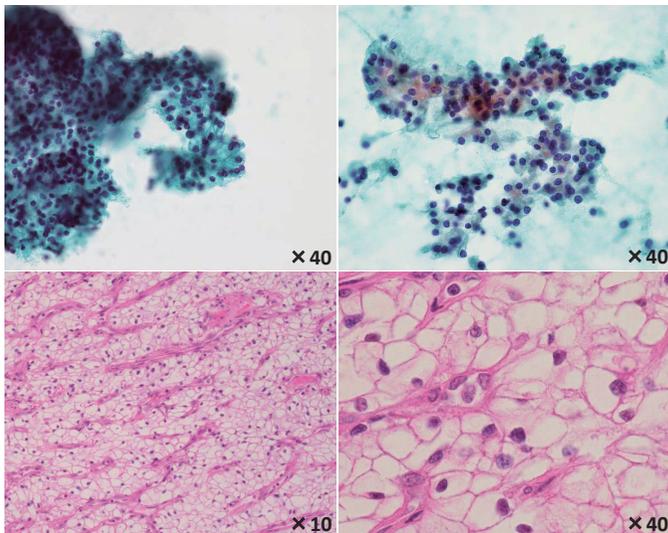
不規則な重積、②核の配列不整、③集塊辺縁の凹凸不整の集塊 3 項目、  
①核の腫大、②核形不整、③クロマチンの異常の個々の細胞 3 項目をそれぞれ満たした細胞集塊で腺癌とする。

症例⑳ 膵液 膵上皮内腫瘍病変 (低異型度～上皮内癌)



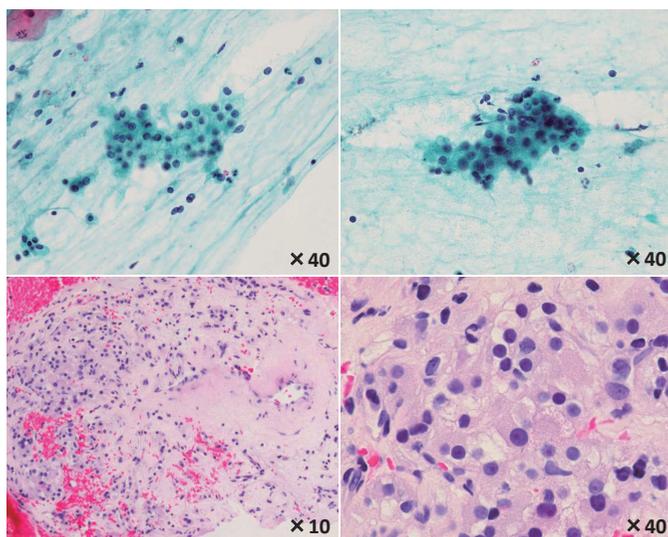
不規則な重積を有する乳頭状集塊、核は比較的小型だが核形不整を伴い、核の配列不整や一部集塊辺縁の凹凸不整を認める。細胞診で疑陽性～腺癌疑い。

症例㉑ 膵腫瘍 FNA 腎淡明細胞癌の膵転移



小型～中型で類円形核を有する細胞。一部核偏在。細胞異型は軽度で核小体は小型で目立たない。淡明で豊富な細胞質を有する。腺房細胞やNET、ACN等との鑑別を要する場合は所見に記載する。

症例②⑤ 膵腫瘍 FNA 腎淡明細胞癌の膵転移



小型～中型で類円形核を有する細胞。一部核偏在。細胞異型は軽度で核小体は小型で目立たない。淡明で豊富な細胞質を有する。腺房細胞やNET、ACN等との鑑別を要する場合は所見に記載する。